

第13回  
文化資源学  
フォーラム

酒

宴

食

饗

第13回  
文化資源学  
フォーラム

# 饗食宴

うたげにつどう人と人



2014年2月22日 (土)

13:30~16:30 ※開場/受付開始 13:00

東京大学弥生キャンパス

弥生講堂アネックス セイホクギャラリー

定員80名 入場無料 (要申し込み/先着順)

※フォーラム終了後、懇親会「酒食饗宴 実践編」(有料)開催

お問い合わせ/お申し込み: [bforum@l.u-tokyo.ac.jp](mailto:bforum@l.u-tokyo.ac.jp)

URL: <http://www.l.u-tokyo.ac.jp/CR/forum13>

## ■プログラム

学生発表「宴のかたち」

ゲスト講演

綿拔豊昭 (筑波大学図書館情報メディア系 教授)

「加賀藩の饗応料理」

伊藤文彰 (ルヴェ ソンヴェール 東京 代表取締役 オーナーシェフ)

「フレンチレストランで宴を創る」

山本洋子 (酒食ジャーナリスト 地域食ブランドアドバイザー)

「米の酒を囲む宴 農、水、山をつなぐ」

シンポジウム「文化としての宴

—思いを込める食、わかちあう食—」

主催: 東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学研究室 後援: 文化資源学会



「宴（うたげ）」という言葉を知って、みなさんはどのようなイメージを持つでしょうか。「うたげ」という日本語には「手を打って楽しむ」という意味があり、漢字の「饗」は「うたげす」と読んで、「ごちそうの両側に人がひざまずいて向かい合った様」を表しています。「シンポジウム」はギリシャ語起源で「共に飲むこと」を表し、プラトンの『饗宴』にみられるように、そこに「討論し楽しむ」意味も加わりました。つまり、「宴」とはまさに飲食を介して人が向き合い、関係を築く場なのです。「宴」は古代から今日まで世界中に続く、人間にとってなくてはならない営みだといえるでしょう。

一方で、わたしたちが生きる現代社会では、孤食や無縁社会など、希薄な人間関係が問題となってきています。いま、「宴」＝ハレの日の共食を見直すことで、こうした状況に光があたるのではないのでしょうか。

「宴」は、いつもと違う食事の場だからこそ、何が起るかわかりません。古来、「うたげす」る人は人々とともに楽しむために、何を食べるか、どう空間を演出するか、どのようにふるまうかなど、様々な工夫を凝らし、知恵を絞ってきました。わたしたちは、〈宴の中の食〉〈演出される宴〉〈宴から生まれるかかわり〉といった視点から、これからの「宴」の可能性について考察していきます。

## ■プログラム

- 13:00 開場/受付開始
- 13:30 開会
- 13:35 学生発表「宴のかたち」
- 14:00 綿拔豊昭 講演  
「加賀藩の饗応料理」
- 14:30 伊藤文彰 講演  
「フレンチレストランで宴を創る」
- 15:00 山本洋子 講演  
「米の酒を囲む宴 農、水、山をつなぐ」
- 15:40 シンポジウム  
「文化としての宴 —思いを込める食、わかちあう食—」
- 16:30 閉会

フォーラムへの参加をご希望の方は、必要事項をご記入の上、メールにてお申し込みください。  
メールアドレス：bforum@l.u-tokyo.ac.jp

- 必要事項：(1)お名前  
(2)フリガナ  
(3)ご所属  
(4)メールアドレス  
(5)緊急連絡先（お電話番号）

- ・お送りいただいた個人情報、本フォーラムに関する目的以外には使用いたしません。
- ・懇親会「酒食饗宴 実践編」（有料）については、お申し込み後メールにてご連絡いたします。
- ・お問い合わせは、上記メールアドレスまでお願いいたします。

## ■ゲストプロフィール

### 綿拔豊昭

筑波大学図書館情報メディア系 教授



近世文学・礼法、図書館学が専門。近著『包丁侍 舟木伝内』（陶智子と共著）では、加賀藩で供された大名料理の紹介とともに、来客が7千人にも及ぶ荘厳な武家の御成での宴席の献立や、儀礼などが描かれている。

### 伊藤文彰

ルヴェ ソンヴェール 東京 代表取締役 オーナーシェフ



フランスの料理学校や三つ星レストランに学ぶ。現在、本郷・駒場・南大沢の3店舗を経営。大規模な結婚披露宴から記念日の祝宴まで、顧客のニーズを汲んだコンセプトを、宴席の食で表現している。

### 山本洋子

酒食ジャーナリスト 地域食ブランドアドバイザー



『オレンジページ』などの編集者を経て独立。地域食ブランドのアドバイザー、各県の地域活性化会議などの委員を務める。全国に埋もれる郷土食探しがライフワーク。著書に『純米酒BOOK』がある。朝日カルチャーセンターで「楽しむ純米酒講座」開催。

## ■開催日時

2014年2月22日（土）

13:30～16:30

※開場/受付開始 13:00

定員80名 入場無料

（要申し込み/先着順）

## ■会場アクセス

東京大学弥生キャンパス

弥生講堂アネックス

セイホクギャラリー

最寄り駅：東大前駅（東京メトロ南北線）

根津駅（東京メトロ千代田線）

本郷三丁目駅

（東京メトロ丸の内線 都営大江戸線）

